

＼DBO方式による道の駅「海の京都宮津」のリニューアルや
遊休資産の利活用（開発）に興味のある事業者さまなど対象／

島崎・浜町ウォーターフロントエリアの活性化に向けた官民対話

日時

令和7年**10月31日**（金）

11:00～（受付**10:30～**）

会場

京都府宮津市字浜町3012

ミップル第1コミュニティルーム

WEB
参加可

オープン型は
傍聴可

参加
無料

定員
100名

事業概要

宮津市では、日本三景天橋立を臨む眺望に優れ、アクセスもいい「島崎・浜町ウォーターフロントエリア」を、今後の宮津市の発展に向けた重要拠点にしていかなければならないと考える中、民間事業者と連携し、地域経済の活性化を図ることを目的に官民対話を実施します。

DBO方式による道の駅「海の京都宮津」のリニューアルや遊休資産の利活用（開発）に興味のある事業者さまなど、多くのご参加をお待ちしております。

プログラム

時間	行程
11:00～	施設見学〔共通〕
13:00～	オープン型〔官民対話①、②共通〕 ※資料説明はオープン型で行います。官民対話①と②は関連しますので、クローズ型を希望される方もできるだけご参加ください。
～以降希望者のみ～	
14:30～	クローズ型〔官民対話①、②個別〕

※10:29宮津駅着の列車でお越しの場合は、送迎車をご利用いただけます。

※官民対話の結果概要は宮津市HPで公開予定。（参加者名やノウハウに関する詳細は非公開）

申し込み等

右のQRコードまたは、下記URLからWEB申し込み

https://apply.e-tumo.jp/pref-kyoto-u/offer/offerList_detail?tempSeq=356

10月24日（金）17時〆切

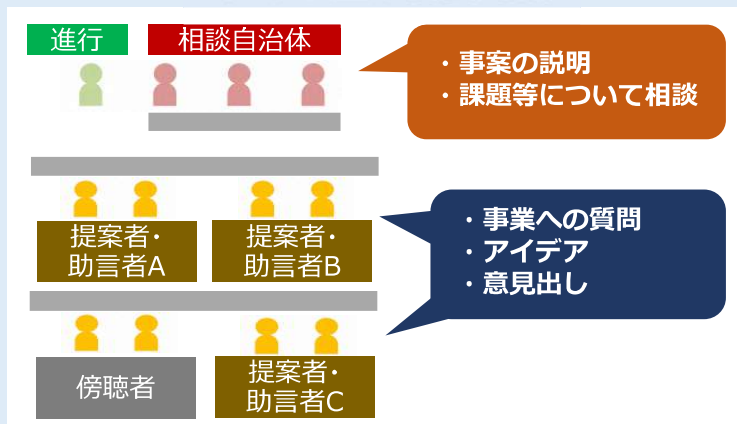


▲申し込みコード

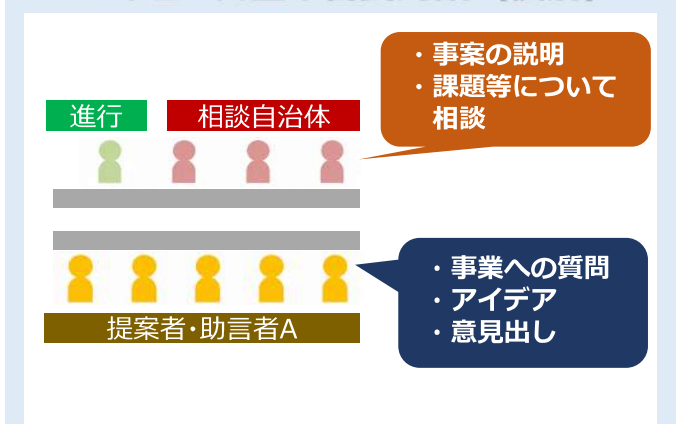
官民対話の実施イメージ

官民対話とは、民間事業者との意見交換等を通じ、事業に対して様々なアイデアや意見を把握する調査です。市場性の有無や実現可能性の把握、行政だけでは気付きにくい課題の把握といった効果が期待できます。

オープン型の官民対話



クローズ型の官民対話（個別）



官民対話 進め方

- ①参加者は、「相談自治体」、「提案者・助言者（民間事業者等）」となります。
- ②相談自治体から事業概要等の説明後に、提案者・助言者から自由にアイデア出し等を行います。

官民対話の目的

令和6年度に立ち上げた「島崎・浜町ウォーターフロントエリア活性化検討委員会」において、海に臨むエリアを「交流拡大」「文化・スポーツ振興」「民間誘致」の3つのゾーンのもと、民間事業者と連携した形での活性化に向けた考え方がまとめられました。



▲これまでの取組はこちら



◆官民対話①

「海に臨む交流拡大ゾーン」での道の駅「海の京都宮津」のリニューアル

⇒これまでの調査結果（コンセプトの明瞭化、施設規模の拡充、DBO方式+指定管理制度の導入など）に対する参入意向や今後の整理課題、ソフト面でのアイデア等の把握とDBO事業者の選定に向けた公募条件等の整理を目的としています。

◆官民対話②

「海に臨む民間誘致ゾーン」での民間事業者による遊休資産の利活用（開発）

⇒道の駅「海の京都宮津」のリニューアルにより、ウォーターフロントエリア内やまちなかなどへの回遊や海の活用など新たなにぎわい創出が期待される中、民間誘致ゾーンへの参入意向や活用提案の把握と利活用（開発）事業者の選定に向けた公募条件等の整理を目的としています。

問い合わせ先

「京都府公民連携プラットフォーム」事務局（株式会社京都銀行） 担当：松居
TEL：075-361-2293